

# 浩然

「思いやりを持ち 健やかで 確かな学力を  
身に付け ふるさとを愛する生徒の育成」

香美町立村岡中学校通信

No. 12 2017. 1. 10 (TUE.)



## あらた はつはる 新しき年の始めの初春の 今日降る雪のいや重け吉事

新年あけましておめでとうございます。いよいよ学年最後の学期を迎えました。本年も充実した一年になりますようよろしくお願いいたします。

さて、始業式でも紹介しましたが、標記の和歌は万葉集4516番目、つまりいちばん最後の歌です。編者と言われている大伴家持の作。「年が明け、今日降っている雪のように今年が良いことがたくさん積もり重なって欲しい…」という意味です。村岡中学校にとっても、生徒一人一人にとってもすばらしい年であって欲しいと願っています。

3学期は学年の締めくくりの学期であると同時に、一年のスタートの学期でもあります。そして次の学年への準備期間の学期です。その意識を持って今学期に臨んで欲しいと思います。特に3年生にとっては、進路決定に向けて正念場であり、集大成となる3ヶ月です。実力テストも控えています。実りある日々にしてください。

ところで、年末年始は学生や社会人のたくさんの競技大会が行われていました。私はスポーツニュースを見ていて、全国高校サッカー選手権でのある学校の横断幕に目が止まりました。【**努力が奇跡を生む!**】

その通りだと思いました。逆に言えば、努力した者にしか奇跡は訪れないのかもしれない。いつも言っていることですが、努力することが運を引き寄せ、運をつかませるのでしょう。ふだん、いい加減に過ごしている人に奇跡や幸運はやってきません。奇跡や幸運といっても立派にその根拠は存在するのです。努力とは、自分で限界を作らないことだと私は思います。

そういえば、ラグビーで日本一になった福岡県の東福岡高校。ここは、ラグビーだけでなく、サッカー・野球・バレー等の全国強豪校として知られている私立高校です、今年も全日本高校バレー大会に出場した男子バレー部員は、毎日の登下校路や、各大会ごとに会場までの道のりを歩きながらごみや空き缶拾いをしているそうです。試合で競ったときにボールがインになったりアウトになったりする、その紙一重は結局選手たちのふだんの生活態度や人間性が左右する、という考えだそうです。その行動が、今他の学校にも伝わっているようです。大学ラグビー8連覇を達成した帝京大学もずっと同じようなことに取り組んでいるそうです。

これも「運」をつかむ、ということだと思います。目標達成のために何事も真摯に、謙虚に取り組む姿勢が「運」や「奇跡」、「吉事」をもたらすのだとあらためて思いました。

ところで、松下村塾を開いた吉田松陰の言葉に、つぎのようなものがあります。



夢なき者に 目標なし 目標なき者に 計画なし  
計画なき者に 実行なし 実行なき者に 成果なし

私たち教師は、生徒にとって家族以外で一番身近にいる大人として、子どもたちに常に「夢」や「希望」を語る存在でありたいと思っています。今年も保護者の皆様、地域の方々には、いろいろな面でご理解ご協力をよろしくお願いいたします。2017年が、大きく飛躍する年となることを願っています。

**おめでとう!**

☆ 第55回 全日本学校歯科保健大会 奨励賞  
H28年度 兵庫県学校歯科保健大会 優秀校  
香美町立村岡中学校



### 今、伝えておきたいこと

学校は勉強するところ、学ぶところであることは、今さらいいうまでもありません。その、勉強する、学ぶというのはどういうことなのでしょう。

私は、こう考えています。「学ぶ」ということは、「今までの自分より、少しだけ良い自分になること」。英語の単語を一つ覚えること、難しかった数学の問題が解けるようになること、部活でも出来なかったプレーが出来るようになること。これらはみんな、少しだけ良い自分になること、つまり学ぶことだと思います。そんな学ぶ機会を準備し、手助けするのが私たち教師であり、周りの大人であり、互いに刺激し合い、競い合うのが生徒・仲間同士です。学校には、大勢の教師、生徒がいて、学ぶ機会、つまり少しだけ良い自分になるチャンスがたくさんあるということです。教師と生徒が互いに良いものを目指し、それこそが学校だと考えています。

一方、大勢の教師や生徒が集まる学校にも弱点はあります。それは、それぞれの人が考える「良いもの」が少しずつずれることもあるということです。時には、先生たちの間でさえ意見が異なることもあり、生徒同士の間でも、また先生と生徒との間でも起こり得ます。互いの意見や思いが食い違い、衝突することだってあります。でも考えてみればそれも当然のことです。自分なりに曲げたくない信念もあり、価値観も違うでしょう。感覚的に「合う・合わない」「好き・嫌い」という感情は誰にもあることなのです。しかし、そこからどう解決するのがとても大切なことです。互いに意見や考えを理解し、わかり合おうとすることが大事です。それをしないで、間違っただけに訴えると大きなトラブルになりがちです。大人たちも、「経験」から「学習」し、どうすべきか「理解」して対応してきました。学ぶとはどういうことなのか、意見や思いが違ったときどう対応すべきか、私たちの「人間力」が問われています。

良くも悪しくも、今の「あなたの行動が、あなたの習慣になる。あなたの習慣が、あなたの性格になる。あなたの性格が、あなたの運命になる」のです。自戒を込めて。

### 新図書室・エレベーター完成!!

昨年末、ついに新図書室とエレベーター棟が完成しました。図書室は、旧中庭に新築、校舎から渡り廊下でつながっています。エレベーターは大きな荷物やけが人等のあるときに使用予定です。  
(文責：才田 覚)



